

出張報告書

下関市議会議長殿

令和 元年 11月 20日

職氏名 市議会議員 前東直樹 (公明党市議団会長 他3名)	用務 中央省庁へ政策ヒアリング
期間 令和 元年 11月 11日から 令和 元年 11月 12日まで	出張先 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館

意見・調査事項

1. 「再生可能エネルギーの今後の展開について」(経産省資源エネルギー庁)
2. 「地域医療構想の今後の取り組みについて」(厚生労働省医政局)
3. 「免許返納後の公共交通のあり方について」(国土交通省)

下関市議会公明党市議団として、市政における諸課題について国の政策動向および現状について調査すべく、担当省庁へ政策ヒアリング(勉強会)をおこなったものである。

参加者：前東直樹、恵良健一郎、坂本晴美、河野淳一の各市議会議員4名

【意見等】

1. 「再生可能エネルギーの今後の展開について」(資源エネルギー庁)

資源エネルギー庁 再生可能エネルギー推進室長 杉浦孝志氏 他

現在、太陽光発電が新エネルギー政策から10年となり、買い取り価格の改定等大きな変革期をむかえている。そのため、現在のFIT法ならびに今後の議論の方向性について担当者より説明を受けた。

2. 「地域医療構想の今後の取り組みについて」(厚生労働省医政局)

厚生労働省医政局 地域医療計画課課長 鈴木健彦氏 他

下関市でも現在、地域医療構想調整会議等、病院再編を含めた議論が行われている。そこで改めて、地域医療構想の目的・方向性について国の政策動向を確認するとともに、下関市の現状を含め地域医療のあり方や議論の進め方について意見を伺った。

3. 「免許返納後の公共交通のあり方について」(国土交通省)

国土交通省総合政策局 交通政策課長 蔵持京治氏 他

下関市でも、高齢化・過疎化にともない、公共交通機関の再整備や活用のあり方について検討が進められている。そのため、国の政策や支援の動向について伺うとともに、新たなモビリティサービス政策(MaaS)について説明を受けた。

以上のヒアリングを踏まえ、議員各人が研究を重ねるとともに、市の政策に反映できるよう一般質問等でも取り上げ、政策提言につなげていくこととした。

以上

2012年9月
(124)
FIT法



2020年9月

FIT法見直しの議論について

2019年11月

資源エネルギー庁

地域医療構想の今後の進め方について

厚生労働省医政局

日本版Maasの実現に向けて

国土交通省総合政策局公共交通政策部



国土交通省